学校番号	２１２

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・総合（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．家族と家庭，高齢者とのかかわりと福祉，衣生活・住生活などに関する知識と技術を総合的に習得する。
２．学習した知識や技術を生かし，家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育てる。
３．家族や社会との共生を目指し，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2　学習の到達目標

１．人の一生と家族・家庭，子どもや高齢者との関わりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得する。
２．学習した知識や技術を生かし，家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育てる。
３．家族や社会との共生を目指し，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉､消費生活、衣食住などについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族･家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉､消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭､子どもや高齢者との関わりと福祉､消費生活､衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	・学習状況の観察 ･ワークシート等の記述 ･レポートの製作や発表 ・自己評価	・学習状況の観察 ･ワークシート等の記述 ･レポートの製作や発表 ・定期考査の結果 ・自己評価･相互評価	・学習状況の観察 ・ワークシート等の記述 ・製作品 ・実習の技能 ・グループワーク等の記述、発表 ・自己評価・相互評価 ・定期考査の結果	・学習状況の観察 ・ワークシート等の記述 ・ＶＴＲ鑑賞・実習後の感想 ・レポートの製作や発表 ・定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

1学期	第7章　衣生活をつくる	○被服の役割を考える ○被服を入手する ○被服を管理する ○被服を作る	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	ａ：・衣生活に関心を持ち，人間と被服，気候と被服の関わりを考えようとしている。 ・被服材料，被服構成，縫製技術に関心を持ち，被服製作に取り組もうとしている。 ｂ：・被服材料の性能改善と着心地，安全に配慮した被服，衣生活の文化の伝承について考え，まとめたり，発表したりしている。 ・衣服の購入から廃棄，環境との関わりなど，持続可能な衣食生活について考え，工夫している。 ｃ：・健康と安全に配慮した被服計画を立てることができる。 ・充実した衣生活を営むための被服製作ができる。 ｄ：・着装，被服材料，被服構成，被服製作，被服管理などについて科学的に理解している。 ・資源の有効活用の視点から，購入，活用，手入れ，保管，再利用，廃棄を考えた持続可能な衣生活の必要性を理解している。	・授業態度 ・ワークシート ・レポート ・グループワーク等の記述、発表 ・自己評価 ・相互評価 ・定期考査
	第1章　自分らしい人生をつくる	○家族・家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:固定的な性別役割分業意識を見直し，多様な生き方を認め，積極的に家族・家庭と社会との関わりを考えようとしている。 b:　・家庭生活を支える法律や社会制度，ボランティアの在り方について考え，まとめたり，発表したりしている。 ・男女共同参画の面から，各自が担う家庭での役割と自立について考え，まとめたり，発表したりしている。 c:　家族や家庭生活の在り方などについて検討するために，新聞や書籍などから必要な資料を収集したり，調査したりすることができる。 d:　現代家族の特徴，家庭機能の変化，家庭生活と社会との関わりについて理解している。	

2学期	第3章　高齢社会を生きる		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:高齢社会の現状と課題，高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持ち，高齢者を肯定的にとらえ，高齢期の生活について考えようとしている。 b:高齢者や高齢者を取り巻く社会について，具体的に課題を見い出し，その解決を目指して思考を深め，まとめたり，発表したりしている。 c: 地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集したり，調査したりすることができる。 d:高齢社会の現状と課題，高齢者の心身の特徴や生活について理解している。 高齢者の尊厳を保ち，残存能力を生かした自立生活支援の必要性を認識している。社会保障制度の必要性を理解しそのしくみについて知識を身につけている。	授業態度 ・ワークシート ・レポート ・グループワーク等の記述、発表 ・自己評価 ・相互評価 ・定期考査
	第8章　住生活をつくる	○住生活について考える ○住生活の計画と選択 ○これからの住生活	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:生涯を見通して，住居の機能や住空間の計画などについて関心を持ち，よりよい住生活について考えようとしている。 b:ライフスタイルや価値観に応じた，生命と健康を守るための暮らしの在り方について考え，工夫している。地球環境に配慮した快適な住環境や，自然環境や社会環境と調和した住生活について考え，まとめたり，発表したりしている。 c:よりよい居住環境を整備するために必要な平面図を読み取ることができる。 家族構成やライフステージ、生活価値観に応じた住空間の計画ができる。 d:住居の機能，住空間の計画，住環境など，安全で快適な住まいについて科学的に理解している。	授業態度 ・ワークシート ・レポート ・グループワーク等の記述、発表 ・自己評価 ・相互評価 ・定期考査

3学期	第4章 共に生き、共に支える	○私たちの生活と福祉 ○社会保障の考え方 ○共に生きる	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a: 共生社会に関心を持つとともに，社会の一員としての自覚を持ち，ボランティア活動や支え合う活動など，主体的に行動しようとしている。 b: 社会制度の理念と内容やボランティアの在り方について考えを深め，社会の一員として，共生社会を実現するために何ができるか考え，工夫している。 c: 共生社会の実現に向けて，自分のできることは何か，情報を収集・整理したり，実践に生かすなど，支え合う活動に必要な技術を身につけている。 d: ・共生社会の重要性について理解している。 ・社会福祉の基本的な理念や内容について，共生社会を実現するために必要な知識を身につけている。	授業態度 ・ワークシート ・レポート ・グループワーク等の記述、発表 ・自己評価 ・相互評価 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。